

提 言 書

平成 31 年 1 月 29 日

平成 30 年度水戸市市政モ二夕一

目 次

| | |
|------------------|---|
| 提言について | 3 |
| 市政モニター提言 | 4 |
| 市政モニター活動内容 | 7 |
| 市政モニター名簿 | 9 |

提言について

私たちは、平成30年5月に市政モニターの委嘱を受け、少しでもこれからの水戸市のためになれば、との思いで活動を始めました。

全6回の会議の他、水戸の「食」に関する施設の見学や、水戸市議会本会議の傍聴など、様々な内容で、新しい発見もたくさんありました。

また、水戸市の財政状況や市政概要の説明、そして私たちの疑問について、関係各課の職員による解説など、普段あまり聞く機会のないことも学びました。

普段、私たちが感じている市政に対する思いや、気付いたことについて、意見を交換していく中で、様々な世代の皆さんが、普段考えていることや望んでいることを聞くことができ、とてもいい経験になりました。

私たちだけでなく、これから子育ての始まる皆さんや、水戸に住む多くの方にとって、水戸市が「子育てのしやすいまち」、「地域に活力があるまち」と感じられるよう、意見を提言としてまとめました。

私たちの提言が、少しでもそのお役にたてれば幸いです。

平成30年度 水戸市 市政モニター 一同

市政モニター提言

【子どもの健診，医療について】

- 1 子どもの予防接種の際に，医療機関で予診票に記入することは負担であるため，予防接種券に予診票を同封して送付し，自宅で予診票の記入ができるようにしてほしい。
- 2 子育て中の方はとても忙しく，自ら情報を探すことも難しい場合も多い。一方，スマートフォンが社会全体に普及してきており，総務省の調査では，20代から30代の約90%の方が所有している状態にあり，子育て世代の方においてもスマートフォンの利用率が高いと思われる。このことから，予防接種の受け忘れ防止のため，未接種のワクチンを通知する機能や，子育てに関するイベントを表示・通知する機能，病児・病後児保育の事前登録や利用申請ができるなどの機能を持った子育て支援アプリを導入してほしい。
- 3 幼児健康診査は，受診できる期間を一定期間設けるなど，受診しやすい環境を作っているが，共働きの夫婦などは，平日昼間に時間を取ることが難しい。平日受付時間の延長や土日にも受診ができるようにしてほしい。
- 4 核家族化が進み，社会とのつながりが希薄になりつつあり，子育てに不安を感じる家庭が増えている。子どもの発達・発育について，気軽に相談できるように，各市民センターで行われている「子育て広場」へ保健師を派遣してほしい。

【公園の利用環境・緑化について】

- 5 公園の利用者の中には，自由に子どもを遊ばせたい方や，静かに公園を利用したい方などがおり，互いを尊重し，マナーを守った利用が大切である。公園内に利用者の声を掲載する掲示板を設置するなどして，利用者間でのコミュニケーションの促進を図ってはどうか。
- 6 千波公園の駐車場から遊歩道までの途中に段差があるなど，ベビーカーを使いづらい場所がある。ベビーカーを押しながら移動できるように整備を行ってほしい。
- 7 人生の節目の記念に，各種記念樹の配布を行っているが，アパート等，家の都合

で植えられない場合や、自宅に植えても高齢などの理由で管理ができない場合がある。出生の際には、記念樹以外にミルクやオムツなどを選択できるようにしたり、当該年度に配布対象となる方々（出生、転入、長寿）が、市の施設に植樹するイベントを開催し、成長していく自分達の木を自由に見に行くことができるようにしたりしてはどうか。

【市内在住外国人への支援について】

8 日本語に慣れていない外国人が、市の制度などを理解し、利用しやすくするために、国際交流団体等の意見を参考に、外国人に分かりやすい情報提供方法についてのガイドラインを作成し、窓口では「やさしい日本語」の利用や「指差し会話表」を用いての案内を行うなど、市民サービスの向上を図ってほしい。

また、曜日ごとに各言語担当の通訳を配置し、各種窓口で相談できるようにしてほしい。

9 日本語指導を必要とする外国人の子どもが学校に入学・転入した後に生じる、子ども側、学校側双方の負担を軽減するため、入学・転入前に学校生活に必要な会話・読み・書きや、学校の決まり事などを教える「初期日本語指導教室」を開催してほしい。

10 子ども会や町内会への在住外国人の参加を促進し、多文化共生を図るため、地域で行う祭りや運動会などについて、外国人向けのコミュニティ活動案内を作成、配付してほしい。

【地域コミュニティについて】

11 核家族化が進み、地域社会のつながりが希薄化する中、未来を担う子どもたちを社会全体で育てていくことが必要と考える。子ども会活動が保護者の負担となり、その結果、加入率の低下につながっていると思われる。子ども会活動のサポートとして「水戸市子ども会育成連合会サポート隊」や「水戸市サブリーダーズ会連絡会（水戸市高校生会）」への登録を広く呼びかけるとともに、これらの組織や、子育てボランティア支援グループなどの活動情報を整理したうえで、子ども会へ紹介し、効率的に活用できるようにすることで、保護者の負担軽減を図ってはどうか。

また、各組織の活動の幅を広げ、児童公園や放課後の学校グラウンドで遊ぶ子どもたちを見守る活動などが行えるようにしてほしい。

12 価値観の多様化により、地域の連帯感や帰属意識は希薄になりつつあり、町内会

の加入率が低下しているように見える。一方、地域自らが地域の課題を解決できるように、地域の活力を高めていくことが必要である。

地域の活性化とつながりを強化するために、アパート・マンション等については、管理者やオーナーなどから入居する方に町内会への加入や行事等への参加を呼びかけてもらうなど、町内会活動への参加促進を図ってはどうか。

また、新興住宅地などで町内会がない地域については、町内会の役割等を説明する座談会を開催するなど、町内会を組織するためのサポートを行ってほしい。

【道路・交通について】

13 高齢により運転に不安を感じていても、日常の移動手段として自動車の運転が欠かせない方がいる。高齢者が運転免許を返納しても日常生活に支障をきたすことがないように、スーパーや病院などを決まった時間に巡回する乗り合いバスなどを導入してほしい。

14 道路標識や信号に樹木の枝や葉がかかっている、見えづらくなっていることがある。場所の確認ができるように、スマートフォンから写真を添付して、手軽に通報ができるシステムの導入を進めてほしい。

15 上市の辺りは一方通行の道路が多く、逆走している車も見かける。観光客など道に慣れていないドライバーが、誤って逆走することが無いように、路面表示や標識、看板などで、一方通行であることをわかりやすく表示してほしい。

【観光・イベントについて】

16 電車で水戸へ来た観光客にとって、水戸駅にある観光案内所の位置がわかりづらいように思う。

観光案内所を分かりやすい場所に移転するか、観光案内所への誘導看板を分かりやすくしてほしい。

市政モニター活動内容

平成 30 年 5 月 2 日（水） 委嘱状交付式及び第 1 回市政モニター会議

【会議内容】

水戸市の状況等についての説明

政策企画課 「市政概要について」

財政課 「財政状況について」

市民相談室 「市政モニターについて」

平成 30 年 6 月 11 日（月） 市議会傍聴

【傍聴内容】

平成 30 年第 2 回水戸市議会定例会

平成 30 年 7 月 10 日（火） 施設見学会

【見学施設】

「水戸市公設地方卸売市場」

「水戸市立学校給食共同調理場」

「森のシェーブル館」

（水戸市の「食」に関する施設巡り）

平成 30 年 8 月 28 日（火） 第 2 回市政モニター会議

【会議内容】

意見交換 「子育て」と「その他」について

平成 30 年月 9 日 20（木） 第 3 回市政モニター会議

【会議内容】

担当課による業務内容の説明，質疑応答

（担当課：公園緑地課，保健センター）

意見交換 「子育て」と「その他」について

平成 30 年 10 月 23 日（火） 第 4 回市政モニター会議

【会議内容】

意見交換，提言のまとめ

「子育て」と「その他」について

平成 30 年 12 月 4 日 (火) 第 5 回市政モニター会議

【会議内容】

提言書 (案) について

平成 31 年 1 月 29 日 (火) 第 6 回市政モニター会議